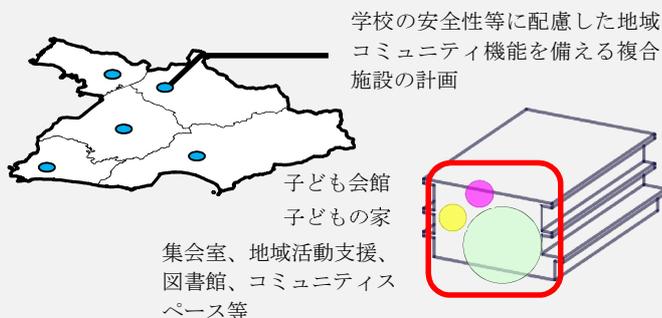


### (3) 学校施設

再編方針

- ◆ 小学校の建替え等の際は、子どもの家・子ども会館の複合化を前提に整備する。
- ◆ 各行政地域内に1校を選定し、教育環境の維持向上や安全性等に配慮した上で地域活動支援機能等を統合した地域拠点校として整備する。



#### 地域拠点校

学校教育施設との管理区分を明確に分離した上で、近隣の子育て関連施設、老人福祉、図書館、支所（地域活動支援）、生涯学習等の機能を集約し、地域コミュニティの拠点としてのサービス向上を図る。

- ◆ 小中学校で行っている地域開放（校庭・体育館・多目的室・プール）は継続する。
- ◆ 総合体育館屋内プール（「(9) スポーツ施設」P.102 参照）、こもれび山崎温水プールの活用（一部実施中）、隣接校のプールの共用化の可能性について、学校教育上の課題も踏まえた検討を行い、共用化が可能な学校プールは段階的に縮小する。
- ◆ 地域拠点校の検討を考慮した上で、将来の児童・生徒数の見込みに合わせ、学区の見直しや学級数及び施設規模の適正化等、統廃合についても検討を行う。

再編内容

#### 短期（H26～H31 対応分）

- ・ 大船中学校の建替え事業を進める。
- ・ 喫緊の待機児童（学童保育）対策として、既存校舎の活用を進めていく。
- ・ 多世代が交流できる機能の具体的なあり方と地域拠点校選定の検討を進め、平成28年度までに地域拠点校5校を絞り込む。

#### 中期（H32～H37 対応分）

- ・ 総合体育館屋内プール、こもれび山崎温水プールの活用、隣接校のプールの共用化の可能性について、学校教育上の課題や消防水利としての状況も踏まえた検討を行い、共用化が可能な学校プールを段階的に縮小する。
- ・ 施設の当初建築年度やその後の増築、改修等の状況を踏まえた、建替え等に係る優先順位の検討を行い、2校程度の建替え等整備に着手する。

#### 長期（H38～H65 対応分）

- ・ 短中期の検討に基づき、計画的に建替え等整備を進めるとともに、将来の児童・生徒数の見込みに合わせ、統廃合についての検討を行う。

図表 学校施設の規模の推移

	現状	短期	中期	長期
		H31年度末時点	H37年度末時点	H65年度末時点
施設数	25	25	25	21
小学校	16	16	16	13
中学校	9	9	9	8
施設面積	169,587㎡	169,587㎡	168,259㎡	142,467㎡

※長期において、小中学校4校分が統廃合されると仮定。

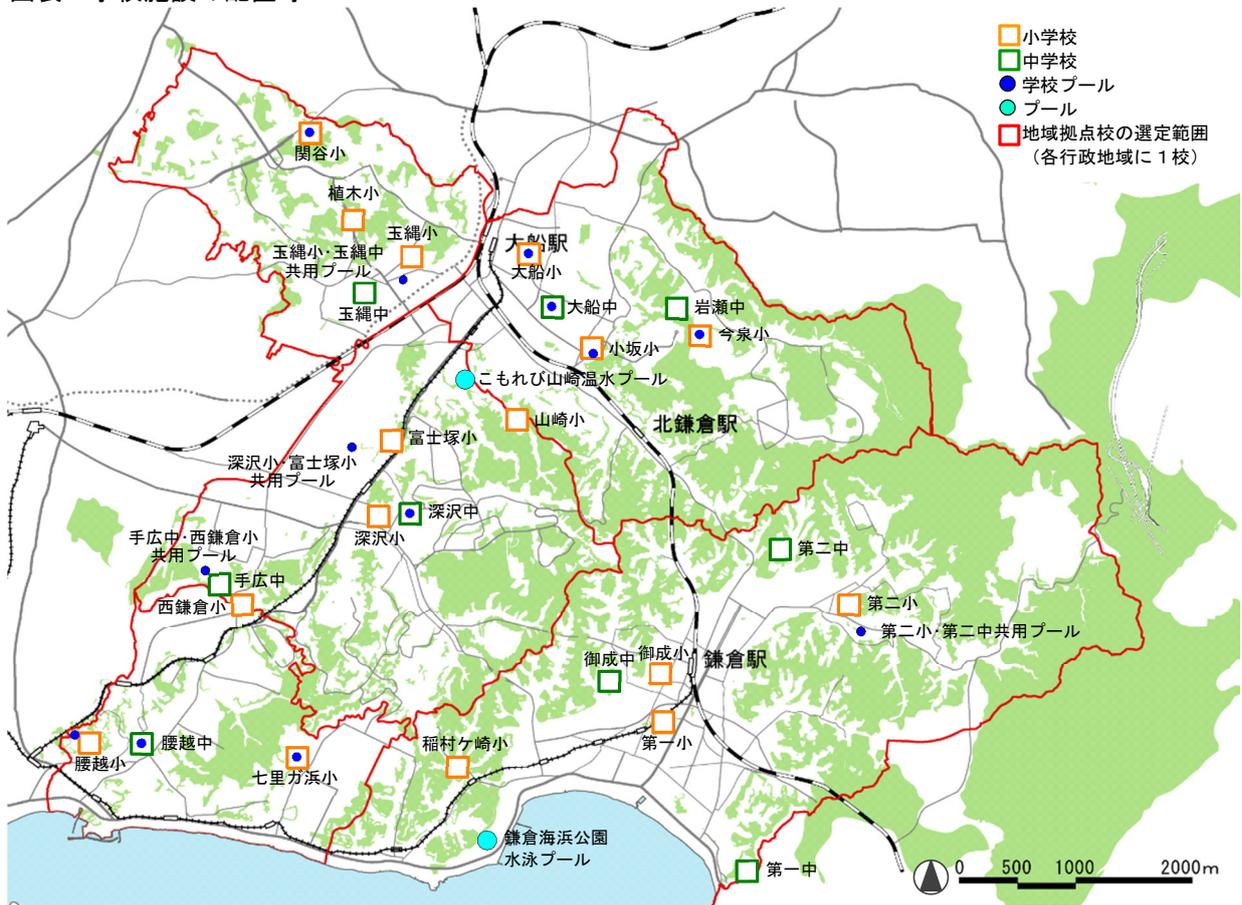
図表 学校施設のコスト（累計）

（百万円）

		短期	中期	長期
		H26～H31 (6年間)	H26～H37 (12年間)	H26～H65 (40年間)
従来型コスト	$A=a+b$	11,944.4	28,454.6	128,191.8
建設	$a$	1,910.8	8,387.5	61,301.3
管理運営	$b$	10,033.6	20,067.1	66,890.4
再編後のコスト	$B=c+d+e$	11,944.4	27,941.7	104,443.0
建設	$c$	1,910.8	7,941.9	50,446.3
管理運営	$d$	10,033.6	19,999.9	60,622.2
借地料	$e$	0.0	0.0	▲ 6,625.5
<b>コスト削減効果</b>	$C=A-B$	<b>0.0</b>	<b>512.9</b>	<b>23,748.8</b>
<b>削減率</b>	$C/A$	<b>0.0%</b>	<b>1.8%</b>	<b>18.5%</b>

※借地料収入は建設及び管理運営に係るコストに対してマイナスとなるため、数値に▲をつけて表記している。

図表 学校施設の配置等



■ 参考事例：学校複合化の事例

① 小学校と社会教育施設の複合化

施設概要

施設名 立川市立第一小学校、柴崎図書館、柴崎学習館、柴崎学童保育所  
所在地 東京都立川市柴崎町二丁目  
建物用途 小学校、図書館、学習館、学習保育所

敷地面積	校舎棟	9,659.06 m <sup>2</sup>
	学習館・講堂棟	2,006.17 m <sup>2</sup>
延床面積	校舎棟	8,612.59 m <sup>2</sup>
	学習館・講堂棟	3,228.47 m <sup>2</sup>
	小学校	8,808 m <sup>2</sup>
	学習館	2,353 m <sup>2</sup>
	図書館	438 m <sup>2</sup>
	学童保育所	240 m <sup>2</sup>

構造・規模

校舎棟 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上3階

学習館・講堂棟 プレキャストプレストレストコンクリート造、一部鉄骨造  
地上3階、地下1階

建設年度 平成24年度から平成26年度

学習館棟の体育館やホール、校舎棟の陶芸室は予約制で、学校の授業が優先され、夕方以降や休日に住民に開放されています。

一方で、施設によって利用時間が異なるため、警備システムの設定が難しいものの、多世代交流できる機会を今後も広げていく予定です。

地域図書館と学校図書室は、一体的に整備されていますが、可動式の間仕切りによって、通常は一般市民が学校図書室へ進入できないようになっています。子どもたちは、地域図書館の本を閲覧できるようになったため、放課後に本を借りる児童が増えています。

図書館(左)と学校図書室(右)の受付



図書館(右が学校図書室との可動間仕切り)



学校を子どもたちだけのものとせず、時間帯で分けて住民とシェアできる施設を目指し、小学校と学習館、地域図書館、学童保育所を複合化した事例です。

校舎棟に小学校と地域図書館や学童保育所、学習館棟にホールや体育館が配置されており、校舎棟と学習館棟は3階のブリッジで繋がっています。

学習館や地域図書館、学童保育所それぞれに入口を設け、小学校の正面玄関との動線が分けられており、3階のブリッジでは休日にボランティアスタッフが見守るなど、防犯への配慮がなされています。

外観(左:校舎棟、右:学習館・講堂棟、中央:3階ブリッジ)

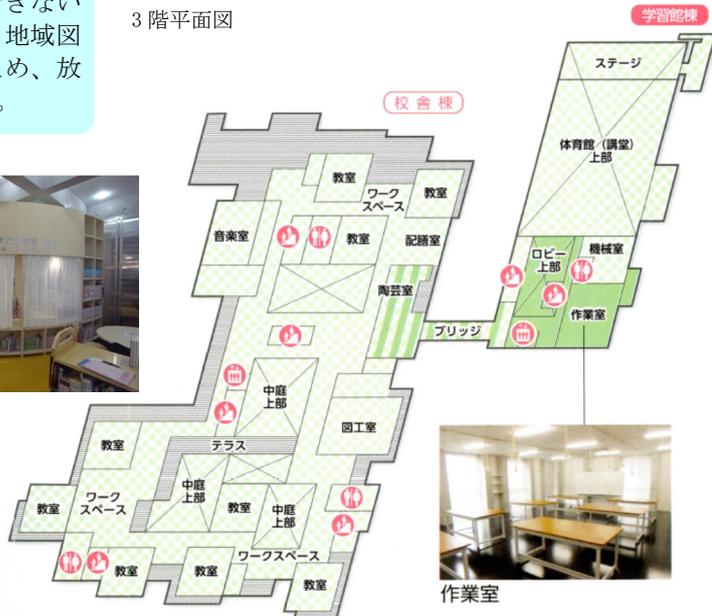


ブリッジ入口(校舎棟側)

陶芸室(校舎棟3階)



3階平面図



作業室

出典：立川市パンフレット「市内初の学校と社会教育施設の複合化」

## ②小学校と幼保一体施設等の複合化

### 施設概要

施設名	品川区立第一日野小学校、五反田文化センター、五反田図書館、第一日野すこやか園（第一日野幼稚園、西五反田第二保育園）、教育センター
所在地	東京都品川区西五反田六丁目
建物用途	小学校、保育園、幼稚園、文化センター、図書館、事務所
敷地面積	9,235.94 m <sup>2</sup>
延床面積	16,521.53 m <sup>2</sup>
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上6階、塔屋1階（小学校棟は地下2階、地上3階）
建設年度	平成20年度から平成22年度

小学校入口と第二校庭への渡り廊下



第一日野すこやか園の入口 五反田文化センターの入口



小学校と幼保一体施設、文化センター、図書館、教育センターを複合化した事例です。

各施設の入口は別ですが、同じ敷地内でつながっているため、安全面を考慮し、通常は施錠されています。

また、全ての施設の建物を含む敷地内の管理は一括で民間事業者に委託されており、数名の管理員が常駐しています。

施設ごとの管理者と民間事業者の連絡会議を月1回実施しており、維持管理等の調整を行うことにより、施設を良好に維持できるだけでなく、子どもたちの安全性確保（抑止力）にも役立っています。

航空写真



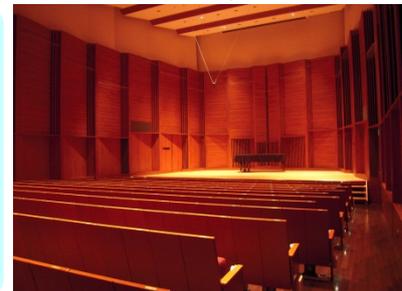
文化センター他 プラネタリウム 学校プール 幼保一体施設  
第二校庭 小学校棟 第一校庭（芝生）

出典：品川区立第一日野小学校 平成26年度学校案内パンフレット

小学校には2つの校庭があり、そのうち芝生の校庭は保育園との共用スペースとなっています。保育園、すこやか園、小学校などの子どもたちが一緒に遊ぶ姿が見られるなど共生の温かさが感じられるだけでなく、地域住民や保護者等の大人の交流によって、地域の目が子どもたちに向けられることで防犯性も高まっています。

また、校内には児童の放課後の居場所として、すまいるスクール（品川区全児童放課後等対策事業）が設けられています。専用室のほか、学校図書室や体育館が開放されています。

音楽ホール（五反田文化センター）



第一校庭（芝生）

第一校庭（芝生）脇のウッドデッキ

すまいるスクール(小学校棟地下1階)

